

利用者・家族を満足させる専門職の実践!

達人ケアマネ

Expert Care Manager

会 員 制
隔月刊誌

日総研グループ/日総研出版 2013年4月30日発行



www.nissoken.com

TEL ☎ 0120-054977

FAX ☎ 0120-052690

E-mail cs@nissoken.com



シリーズ
地域を支える

平成ドリーム館 ◆ 熊本県荒尾市

取材 / 日経グループ



天然温泉と「大規模」「多機能」 施設の特徴を生かして地域に貢献



みやち まもる
宮地 守さん

医療法人平成会
介護老人保健施設平成ドリーム館
リハビリテーション部 部長
理学療法士 / 介護支援専門員

1986年、熊本リハビリテーション学院（現：熊本総合医療リハビリテーション学院）卒業後、12年間医療機関に勤務。1998年より、介護老人保健施設平成ドリーム館に勤務する。グループホーム、健康増進施設、高齢者向け住宅などの開設に携わり、現在はグループホーム副施設長、居宅介護支援事業所管理者を務める。理学療法士、介護支援専門員、健康運動指導士

施設理念に基づいて
明るく喜びにあふれる
サービスを提供

医療法人平成会は、理事長の
藤枝敏行氏が平成元年に、生ま

熊本県荒尾市は、熊本県の北西部に位置する人口約5万4,000人の街である。市内中心部にある医療法人平成会は藤枝医院、介護老人保健施設平成ドリーム館をはじめとし地域医療に貢献すべく、さまざまなサービスを展開している。その中でも、天然温泉を利用したメディカル・スパや多くの専門職の協働による強みを生かした「大規模」「多機能」サービスについて紹介する。

れ故郷である荒尾市に有床診療所を開設したのが始まりである。その後、平成2年に医療法人化し、平成10年には介護老人保健施設平成ドリーム館および在宅介護支援センター、ヘルパーステーションを開設した。施設理念の第一に「お年寄りに夢と光を」を掲げている。そこには、介護保険導入間もないころの、ともすれば暗いイメージのある介護現場の中で、「利用していただく方々に明るく喜びにあふれるサービスを

健康運動指導士による健康体操指導には、
多くの人が集まる。





ドリーム館の大浴場には、手すりの形や湯船の中にベンチを置くことなど、さまざまな工夫がなされている。



施設概要			
(単位：人)			
	性別	通所	入所
		(年間平均(平成24年))	(平成25年3月12日現在)
要支援1	男	2	
	女	10	
	合計	12	0
要支援2	男	5	
	女	33	
	合計	38	0
要介護1	男	29	2
	女	45	3
	合計	74	5
要介護2	男	22	6
	女	41	9
	合計	63	15
要介護3	男	7	2
	女	11	11
	合計	18	13
要介護4	男	1	6
	女	5	20
	合計	6	26
要介護5	男	2	4
	女	1	10
	合計	3	14
総計		214	73

入所定員：76人
 通所定員：117人（ひと月当たりの利用者数は約220人）
 職員（ドリーム館）
 リハビリテーションスタッフ：
 理学療法士…3人
 作業療法士…5人
 言語聴覚士…2人
 健康運動指導士…10人
 歯科衛生士…4人
 介護支援専門員…17人
 看護師…11人
 介護福祉士…27人
 管理栄養士…3人

提供していきたいという藤枝理事長の強い思いが秘められている」と平成ドリーム館のリハビリテーション部部長、宮地守氏は施設の名前の由来について語った。

開設時より「ゆったり療養，安心リハビリ」をモットーに，食事やリハビリテーションのサービスにも力を入れていた。しかし，平成ドリーム館の増床（開設当時は60床）や通所リハビリテーションの定員増など地域のニーズの高まりを受け，「利用者にとって日々欠かせない入浴についても当施設ならではの格別なサービスが提供できないか」と，当時はまだ珍しかった天然温泉を導入することになった。平成14年に天然温泉の掘削に成功し，老健，通所リハビリテーションの利用者に提供したところ，硫黄を含んだ心地良いにおいと，しっとりとした微乳白色の天然温泉は泉質の良さも手伝って大変好評となり，利用者増につながった。



ドリーム館には，露天風呂も完備。柔らかな光を浴びて，のんびりできる。

メディカル・スパとしてのさまざまな温泉の利用方法

より多くの方に温泉を楽しんでもらうために，同年，3ユニット27人定員の「グループホーム ゆったり温泉館」を開設した。また，平成19年には，隣接する場所に地域住民を対象とした「荒尾温泉ドリーム湯」を開設した。ここには，熊本県球磨郡五木村の自然石と樹木を利用した露天風呂やバリアフリーの家族風呂のほかに，食事処では管理栄養士が監修した健康メニューを提供している。地域密着型の施設として「食と体づくり」にかかわる情報に加え，介護予防や認知症予防などの地域づくりに関する情報も積極的に発信している。

そして，同敷地内には，厚生労働大臣認定の「健康増進施設スーパードリーム」を開設した。スーパードリームは健康増進のための温泉利用と，運動を安全かつ適切に実施できる施設として酸素カプセルや，トレーニング機器など22種のフィットネス器具を40機常備し，健康運動指導士，健康運動実践指導者，介護予防運動指導

加水なしの100%天然温泉

循環装置を使用していないため常に清潔で，通所リハビリテーションでの歩行浴やバブルバスにも安心して利用することが可能。

泉質…アルカリ性単純温泉

一般適応症…神経痛，筋肉痛，関節痛，五十肩，うちみ，くじき，痔疾，冷え性，疲労回復，運動麻痺，慢性消化器病，関節のこわばり，病後回復期

員、温泉利用指導者が常在して、利用者の健康増進に力を入れている。高齢者だけではなく、生活習慣病の治療や予防などの目的で運動をした利用者が、温泉でゆっくりと汗を流せるようになっている。

さらに、平成23年には、スーパードリーム内に介護予防を目的にした地区唯一の機能訓練特化型のフランチャイズ制「リハビリデイサービスnagomi荒尾店」をオープンした。入浴・食事をあえて除き、少数での機能訓練に特化した、フランチャイズ制で九州では3番目にオープンした施設として注目されている。通常のデイサービスよりも安価で、より効率的に身体機能（立ち座り、歩行、姿勢改善、上肢機能）の改善に取り組めるようになっており、リハビリテーションに集中して取り組みたい方や、外出や運動の機会が減り体力低下を心配している方、長い時間の利用を好まれない方などを対象にしている。

スーパードリーム内に置かれたトレーニング機器の数々。フィットネスクラブ顔負けの充実ぶりである。



地域に根差したサービスの提供、そして地域ケアの拠点へ

藤枝医院の提供する医療サービス、平成ドリーム館やグループホームの介護サービス、ドリームの湯やスーパードリームで行われる保健・癒しのサービスだけでなく、サービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームなどの住まい・生活支援も、地域のニーズに基づきながら

ドリームの湯の入り口

この中にフィットネスクラブとデイサービスが入っている。



ドリームの湯の大浴場は、近所の憩いの場でもある。



デイケアの風景。広々とした空間で、ゆったりとリハビリテーションを受けられる。





疲れたら、
フットケアで
リラックス

食の支援のために欠かせないのが口腔ケア。
歯科衛生士が丁寧に指導する。



専門職の集う 「大規模」「多機能」 施設ならではの 地域貢献

前述のスーパードリームで利用者の指導に当たっている、健康運動実践指導者や介護予防指導員、温泉利用指導者だけでなく、平成ドリーム館でもさまざまな専門職がそれぞれの専門性を生かしてサービスを行っている。



ここでは、近年注目を集めるセラピューティック・ケアが受けられる。

開設が進んでいる。急速な少子高齢化の影響による社会情勢の変化と疾病構造の変化、予防医学や健康増進といったニーズの高まりに応えるためには、従来の医療・介護だけにとらわれず、保健・福祉分野も含めた多岐にわたるサービスの提供が不可欠であり、地域包括ケアの時代を迎えるに当たっては、既存の機能を最大限に発揮して、地域ケアの拠点としての役割を期待されている。宮地氏は、「藤枝理事長は、地域を支える上で、そのことを常に意識している」と語った。

入所部門ではショートステイを含め、家族負担が限界に達している要介護度が重度の方や、急性期病院から早期退院を余儀なくされた医療ニーズの高い方、行政に相談が来るような、いわゆる対応困難な方などの受け入れを積極的に行っている。入所時に必ず、多数の職員で包括的な評価を行い、在宅復帰が可能な方への支援を重点的に進めている。

現在、平成ドリーム館には、認知症ケア専門士の有資格者が22人おり、それぞれの職員が認知症への実践知識を深め、認知症短期集中リハビリテーションにも力を入れている。通所リハビリテーションでは、理学療法士3人、作業療法士5人、言語聴覚士2人を配置して、専門職としての視点から、さまざまなりハビリテーションを十分に提供できる体制を整えている。

ほかの施設にはない特徴としては、セラピストによる個別リハビリテーションのほかに、歯科衛生士を4人採用し、食前には口腔体操、食後には口腔ケアや義歯の手入れなど専門職による口腔機能改善に力を入れている。また、健康運動指導士を採用しており（現在の有資格者は

10人)、入所・通所部門で、集団での多様な機能訓練も行っている。そのほかにも、外部研修や個別研修などで、フットケアやセラピューティック・ケアといった、高齢者に喜ばれるサービスを積極的に取り入れている。

地域に貢献するための さまざまな取り組み

介護支援専門員や社会福祉士の資格取得にも毎年多くの職員が挑戦しており、配置基準を上回る有資格者たちが、専門職の視点を持って利用者と向き合っている。

これらは加算に該当するものではなく、また、直接施設の収入につながるものではない。しかし、利用者に好評で、定期的な機能評価を並行して行い、介護度の悪化防止にも役立っていると宮地氏は考えている。そのため、大規模な通所施設でありながらも、介護予防通所リハビリテーションでの事業所評価加算の認定を受けるに至ったそうである。


また、法人の活動として、最近では行政の求めに応じて、介護予防教室や特定高齢者向けの運動教室に職員を派遣するようになった。これらの活動には藤枝氏も「地域の中でかかわるすべての方々の協力があってこそ事業運営ができている。その恩返しの一環として積極的に派遣している」とのことである。

「今後も当法人の事業所を利用していただく方々に対して、身体機能、認知機能、IADL、要介護度のすべてを改善していただけるようなサービスを提供し、喜びを共有し、地域貢献を果たしていきたい」とは藤枝氏の言葉であるが、今回お話を伺った宮地氏や利用者を送り出した後でも熱心にカンファレンスを行うスタッフに共通した思いであることを実感した。

(文責/勝河典雄)

3.11 東日本大震災「事実の記録と教訓化」
**災害医療における
組織マネジメント**
新たな課題への取り組み

監修 坂総合病院 東日本大震災災害医療活動振り返りプロジェクトチーム
編集 小熊 信 坂総合病院 副院長
プロジェクトチーム責任者
監修 山崎達枝 NPO法人災害看護支援機構 副理事長



被災状況と活動内容、
そしてこれからの見直しへ。

発災から
沈静までの
「事実の記録」から
教訓化。

執筆 坂総合病院 東日本大震災災害医療活動
振り返りプロジェクトチーム
編集 小熊 信 坂総合病院 副院長
プロジェクトチーム責任者
監修 山崎達枝 NPO法人災害看護支援機構 副理事長

坂総合病院 (宮城県塩竈市)

塩竈市を中心に、仙台市東部地域を合わせた人口25万人の地域を診療圏とする中核病院。病床357床、21の診療科を構える。救急車搬入は年間約3,000件、地域医療支援病院・地域災害支援センターに指定。

4月刊行 B5判 200頁+CD-ROM
定価 2,500円 (税込)



**災害超急性期から慢性期まで
日々の出来事、判断、行動の詳細！**
来院患者数の推移、疾病構造
設備・物品の状況、スタッフの配置状況
食事、通信、帰宅・出勤困難の対応 など

主な
内容

- 医療機能と診療圏内における被災状況
- 災害医療活動報告
- 3・11災害医療活動からの教訓と新たな取り組み

資料編CD-ROM (PDFデータ)

- ・坂総合病院職員の意識に関する報告書
- ・坂総合病院の震災後の入院患者の動向の検討 ほか

患者・スタッフをどう守ったか
変化する災害対策への実践的指針！

3.11 東日本大震災
看護管理者の
判断と行動

監修 山崎達枝



**変わる災害対策への
実践的指針！**

**患者・スタッフを
どう守ったか？**

監修 山崎達枝
NPO法人災害看護支援機構
副理事長/看護師



B5判 176頁 定価 2,500円(税込)